

戦後80年～未来につなぐ記憶

今年太平洋戦争の終結から80年、また本市の平和都市宣言から35周年を迎えます。戦争の惨禍を繰り返すことなく、平和で美しい郷土を次の世代に継承するため、未来につなぐべき大切な記憶を写真でとります。

【総務部総務課 ☎216-1125 FAX224-8900】

太平洋戦争(昭和16～20年)

本市は、昭和20年3月から8月にかけて計8回にわたる空襲を受け、市街地の約93%を焼失。死傷者は約8,000人を数えました。特に6月17日の空襲では死者2,316人、負傷者3,500人と、多くの市民が犠牲になりました。



本市における
戦災の状況



撮影:平岡正三郎氏

焼け野原と化した市役所の周辺

終戦直後(昭和20年ごろ)

終戦後の市街地には、がれきが溢れ、生活物資が不足する状況の中、食料品や衣類などの売買を行う「闇市」も出現しました。



現在の中町付近
(奥に見えるのは照国神社鳥居)



山下小学校



ごう
壕の中での生活



闇市の様子

復興に向けて(昭和21年ごろ)

想像を絶する状況の中、先人たちは深い悲しみに耐え、焦土からの復興を図りました。



照国神社前



平之町



上之園町(現在の甲南高校付近)

平和で美しいまち(～令和7年)

戦争の悲惨な記憶を教訓に、平和で美しいまちを次世代に継承していくことが重要です。



現在の山形屋
がある場所



現在のセンテ
ラス天文館が
ある場所



撮影:平岡正三郎氏



太平洋戦争
民間犠牲者慰霊碑
「人間の碑」
(みなと大通り公園)

戦後の市民生活

物資が不足し、今のようにお金で自由に買える状況ではなく、購入には、切符などの証明書類が必要でした。

寄贈いただいた「戦災・復興」資料



生活必需品
購入票



石けん購入切符

ご自宅などにある「戦災・復興」関連資料をご寄贈ください

内 当時の状況を伝える日記や手紙類、召集令状など

◇ 展示や学校への貸し出しなどに活用します

◇ 寄贈できる資料の要件など詳しくは総務部総務課 ☎216-1125 FAX224-8900 へ



寄贈いた
いた資料

今を生きる私たちができること

戦争中の話を直接聞くと、今の私たちでは考えられないくらい苦しく、悲しい時代だったことが分かります。平和学習で学んだ悲惨な記憶を、学校の友人など身近な人に伝えていきたいです。



松元中学校
内田 桜二朗 さん

「ナガサキ原爆展」と「鹿児島市の戦災と復興資料・写真展」 ～平和都市宣言35周年・戦後80年記念～

内 ①長崎市の原爆被災の写真・被爆資料や本市の空襲被害の写真・寄贈資料の展示、②被爆体験者の講話

期 ①8月11日(祝)～17日(日)の9～19時 ※17日(日)は17時まで、
②8月16日(土)・17日(日)の14～15時

所 中央公民館 料 無料 ◇詳しくは市HPか総務部総務課 ☎216-1125 FAX224-8900 へ

